

2020年5月13日

日本T.S.エリオット協会 ニュースレター No.32

第33回大会のお知らせ

日程：2020年10月31日（土）～11月1日（日）

場所：仙台白百合女子大学

〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1

ワークショップ

「エミリー・ヘイルとエリオット：Sara Fitzgerald の *The Poet's Girl* (2020) を読む」

司会・報告者 松本 真治（佛教大学）

報告者 Norman J. Angus（京都橘大学）

久野 晓子（東京理科大学 [非]）

特別講演

井口 時男氏（文芸批評家、俳人）

「伝統と現代」（仮題）

第33回大会研究発表者の募集

発表をご希望の方は、2020年7月31日（金）までに、審査用要旨（2000字程度、A4サイズ）をWORDファイルで添付して、メールにて新事務局までお申し出下さい。

（折り返し「応募受領」の確認メールを差し上げます。）

大会準備委員会にて選考の上、発表者を決定します。研究発表が採用された場合は、後日大会配布用の要旨を別途お願いすることになります。

第33回大会準備委員は佐藤（会長）、松本（副会長）、出口（事務局長）、米澤（会計）、熊谷（開催校）、小原（開催校補助）の6名が務めます。

T.S. Eliot Review No.31掲載の書評について

*Review*に掲載する書評を募集しています。書評の対象は、国内外でここ数年のうちに出版されたエリオットおよび関連領域の研究書で、これまで *Review* で取り上げられたことのないものです。

特に書評対象書籍のリストは挙げませんが、奮ってご応募下さい。お申し出の締め切りは2020年7月15日（水）、原稿の締め切りは8月末日です。新事務局までメールでお申し出下さい。なお、対象の書籍が重複した場合は、原則として先着順とさせていただきます。

会員の出版情報

田口麻奈氏『〈空白〉の根底—鮎川信夫と日本戦後詩』（思潮社 2019）

高市順一郎氏『エリオットの薔薇窓』（思潮社 2019）

※エリオット関連の出版情報を寄せいただければ、ニュースレター等で紹介させていただきます。

年会費納入のお願い

2020 年度の会費の納入をお願いいたします。（同封の振込用紙をご利用下さい。大変恐縮ですが、手数料はご負担願います。）一般会員 6,000 円、学生会員 2,000 円です。

発送事務の手続き上、すでに 2020 年度分の会費を納入済の方を含めすべての会員の方に振込用紙を同封させていただいております。恐れ入りますが、過年度分が未納となっている方は合わせて納入をお願いいたします。

新委員のお知らせ

昨年 8 月に行いました委員選挙（有効票数 195 票、白票 15 票）の結果に基づき、別紙のように新委員が決まりました。任期は 2020 年 4 月～2022 年 3 月です。

事務局の移転について

2020 年 4 月より新役員体制となりました。それに伴い、事務局が京都女子大学から京都府立大学に移転いたします。機関誌へのご投稿を含めて、今後のご連絡は新事務局にお願いいたします。

〒606 8522

京都市左京区下鴨半木町 1-5

京都府立大学 文学部欧米言語文化学科 出口菜摘研究室内

日本 T.S.エリオット協会事務局

☎ 075-703-5241 (直通) email: n_deguchi@kpu.ac.jp

協会ウェブサイト

ホームページに掲載してもよい、エリオット関連の写真データをご提供いただける方は、ホームページ担当（熊谷治子）宛てに、メール添付 (h-kumagai@sendai-shirayuri.ac.jp) していただければ幸いです。ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

ご挨拶

佐伯事務局長体制で 4 年間、皆さまのご協力のおかげで何とか任期を全うするに到りました。末筆となりましたが、お力添え下さいました皆さまに感謝申し上げます。

新型コロナウィルス禍で大学も大混乱に巻き込まれる新年度となりました。このニュースレターは秋の大会が無事に開催できるという前提で作っております。「春頃は大変だったなあ」と皆さまと思い出話ができるようになることを願うばかりです。皆さま、何とか無事にこの事態を乗り越えてまいりましょう。

日本 T.S.エリオット協会事務局

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35
京都女子大学文学部英文学科 佐伯恵子研究室内

☎ 075-531-9097 (直通)

email: saekik@kyoto-wu.ac.jp